

第3章 取組の展開 ～「5つの力」と各主体の役割～

1 学びを行動につなぐ「5つの力」

環境学習等を通して「5つの力」を育むことを示し、環境学習等に取り組む各主体で目指すところを共有することによって環境学習等の質を一層高め、学びを行動につなげていく。

◎ “体感する” ～自然の素晴らしさや環境の大切さを五感で感じ取る力～

五感を使った体験を通して、自然の素晴らしさとともに、私たちの生活や多くの生きものの生命を支える環境の大切さを感じ取る力

◎ “理解する” ～私たちの活動が環境に影響を与えていることを自分ごととして捉える力～

私たちの活動が地域や世界の環境に大きな影響を及ぼしていることを、自分のこととして捉える力

◎ “探究する” ～環境問題を多面的に考察し、その本質や解決策を見つけ出す力～

客観的かつ公平な観点で多面的に考察して、環境問題の本質やどのような行動が必要なのかなどの解決策を見つけ出す力

◎ “活用する” ～環境を守るために必要な知識やスキルを自ら身に付け、活かす力～

環境が抱える課題の解決に向け必要な知識やスキルを自ら進んで身につけ、環境配慮に活かす力

◎ “共働する” ～未来を創り出すために、みんなとつながる力～

課題を解決してより良い未来を創り出すために、他者と力を合わせるものの効果や価値に気づき、目指すところを共有してみんなとつながる力

2 各主体の役割と施策の展開

【定義】

家庭：日々の生活の場として、社会の基礎となる最小単位

学校：幼稚園・保育所・認定こども園、小中学校、高等学校、特別支援学校、大学（短期大学を含む）、各種学校

事業者：事業を行う個人または法人（非営利組織を除く）

NPO等：NPOやNGO等の民間非営利組織（地域コミュニティを除く）

地域コミュニティ：自治会や子ども会などの地縁型団体・組織（集団）

行政：市町村及び県

（1）家庭における環境学習等の推進（「体感する力」を主に育む）

ア 家庭の役割

○子どもの成長の基礎となる心身の基盤を形成し、幼少期からの様々な体験等を通じて豊かな感性を育む上で重要な役割を担う

○日常生活の中で環境に配慮した行動を選択していく、最も身近な実践の場として重要

○住民一人ひとりに環境を大切に思う心を育む人づくりの原点であり、世代間をつなぐ学び合いの場でもある

イ 家庭に期待される主な取組

- 生活の中で、自然に親しんだり、自然の恵みに思いを馳せる機会を増やす
- 環境保全活動や環境学習講座への参加
- エコラベル商品・フェアトレード商品・地産地消などグリーン購入の実践
- 省エネ・省資源型やごみを減らす暮らしの実践
- 環境配慮行動などを通じた家庭内での学び合い・育ち合い

ウ 家庭での取組を促進するために各主体に期待される支援

（ア）学校に期待される支援

- 家庭等との連携・協働による体験活動の実施
- 日常生活と関連付けた環境教育の実施
- 家庭での学び合いへの発展を視野に入れた、身近な課題を取り上げた環境教育の実施

（イ）事業者期待される支援

- 地域等における環境保全活動や、事業活動をベースにした環境学習等の実施・支援（場・人材の提供や経済的支援を含む）
- ライフサイクルの視点で環境に配慮した商品・サービスの開発・提供と、それらを通じた顧客への気づきや学びの機会の提供

（ウ）NPO等に期待される支援

- 日頃の活動を活かした環境保全活動や環境学習の実施
- 学校、事業者、地域コミュニティ、行政との連携・協働による家庭向け環境学習の実施

（エ）地域コミュニティに期待される支援

- 地域活動や資源（公民館や児童館などの場など）を活用した環境学習の実施や、世代間をつなぐ環境学習等の機会の提供
- 環境負荷低減を実践する地域行事の実施

（オ）行政に期待される支援

- 環境、環境学習等に関する情報の収集と分かりやすい提供
- 地域の特性を活かした体験活動や、世代に応じた環境学習、世代間をつなぐ環境学習等の場や機会の提供
- 環境負荷低減や安全・安心に関する普及啓発
- 地域で活躍する環境学習指導者やコーディネーター等の育成・支援
- 地域課題についての情報発信と、その解決のために家庭でできることについての普及・啓発

エ 県の推進する主な施策

- 県内全域を対象とした計画や制度等の体制づくりとその推進
- 環境学習等推進のための拠点となる施設の整備・運用
- 県内環境学習施設の連携の充実

(2) 学校における環境教育の推進（「理解する力」・「探究する力」を主に育む）

ア 学校の役割

- 学校は、発達段階に応じた環境教育を継続的・発展的に実施することにより、持続可能な社会を支える人材を育成する中核
- 様々な知識・技術の習得等の主要な場
- 幼児～小学校低学年では、五感を使った様々な体験等を通じて豊かな感性を育む上で重要な役割を担う
- 幼児・児童生徒を通じて、家庭での環境教育に広がりを持たせる役割も期待される

イ 学校に期待される主な取組

- 各教科や「総合的な学習の時間」を活用した探究的な環境教育の実施
- 発達段階に応じた環境教育、体験学習の実施や、そのための教員研修の実施
- 児童生徒の生活との関わりや、安全・安心に関する環境教育・探究の実施
- 地域やPTAを始めとする多様な主体との連携・協働による環境教育の実施
- 家庭や地域での学び合いに発展する環境教育の実施
- ESDカレンダーなど、環境の視点で教科間をつなぐ取組の強化
- 課外活動や行事における環境負荷低減の実践

ウ 学校での取組を促進するために各主体に期待される支援

(ア) 家庭に期待される支援

- 学校での授業・活動と関連する様々な体験の機会の確保
- 日々の生活の中における、学校で学んだことの実践・活用

(イ) 事業者期待される支援

- ライフサイクルの視点で環境に配慮した商品・サービスの開発・提供など、自らの事業を活かした、体験的・実践的な環境教育等の実施・支援（「協働授業づくりハンドブック」の活用）
- 学びの場・人材・教材の提供などの支援や経済的支援

(ウ) NPO等に期待される支援

- 日頃の環境保全活動など自らの強みを活かした、体験的・実践的な環境教育の実施・支援（「協働授業づくりハンドブック」の活用）
- 学びの機会・人材の提供や授業等で活用できる情報の提供
- 各主体間の連携・協働のコーディネート

(エ) 地域コミュニティに期待される支援

- 地域活動を活用した環境教育の支援や、幼小中高の間をつなぐ環境教育の機会の提供
- 児童・生徒の参加する行事における環境負荷低減の実践

(オ) 行政に期待される支援

- 地域の特性を活かした環境教育の実施・支援、発達段階に応じた環境教育や世代間をつなぐ環境教育の機会の提供
- 授業等で活用できる環境負荷低減や安全・安心に関する普及啓発
- 授業等で活用できる環境情報の収集・提供や地域課題についての情報共有
- 地域で活躍する環境学習指導者やコーディネーター等の育成・支援

エ 県の推進する主な施策

- 発達段階に応じた環境教育の機会の充実
- 環境、環境学習及び各主体の活動等に関する情報の収集・提供
- 県の専門性や地域の特性を活かした環境学習等の実施・支援
- 県内環境学習施設を活用した環境教育の充実
- 環境学習等を行う学校の支援（情報収集・提供、教材の提供、表彰制度など）
- 施策・事業を通じた環境負荷低減に関する普及啓発
- コーディネートなど主体間をつなぐ仕組みの提供（講師、教材）

(3) 社会における環境学習等の推進（「活用する力」・「共働する力」を主に育む）

ア 事業者

(ア) 事業者の役割

- 将来にわたって安全・安心に暮らせる持続可能な社会の形成に必要な環境と経済が両立した事業活動（製品のライフサイクル（原料調達から廃棄後まで）を通じた環境配慮などをはじめとした様々な場面で環境負荷の低減など）を活かした実践的な環境学習の担い手
- 多様な主体との連携・協働による地域づくりの担い手としての役割も期待される

(イ) 事業者期待される主な取組

<社内に向けた取組>

- 取り扱う商品・サービスと環境との関わり、事業所と地域環境との関わりについての社員教育の実施
- 環境法令届出等を活用した、事業活動の環境負荷とその影響の社内での共有
- 環境マネジメントシステムの導入・実施やSDGsへの取組

<社外（消費者、地域等）に向けた取組>

- 多様な主体と連携した地域等における環境保全活動や、強みを活かした環境学習等の実施・支援（場の提供や経済的支援を含む）
- ライフサイクルの視点で環境に配慮した商品・サービスの開発・提供と、それらを通じた気づき・学びの機会の提供

(ウ) 事業者の取組を促進するために各主体に期待される支援

a) 家庭に期待される支援

- 事業者の実施する環境学習等への参加（企業の設置する環境学習施設や環境に配慮した工場の見学なども含む）
- エコラベル商品・フェアトレード商品・地産地消などグリーン購入の実践

b) 学校に期待される支援

- 企業活動と生活との関わりや、安全・安心に関する環境教育の実施

c) NPO等に期待される支援

- 企業の環境活動の強みを活かす連携・協働による環境学習等の実施やコーディネート

d) 地域コミュニティに期待される支援

- 事業者の実施する環境学習等への参加
- 地域活動への参加の呼びかけなど情報の提供

e) 行政に期待される支援

- 事業者が取り組む環境、環境学習等に関する情報の収集・提供
- 環境マネジメントシステムの導入・実施やSDGsへの取組への支援
- 主体間をつなぐ仕組みの提供

(エ) 県の推進する主な施策

- 環境学習等を行う事業者の支援（情報収集・提供、表彰制度など）
- 主体間をつなぐ仕組みの提供（コーディネートやAELネットなど）
- 環境マネジメントシステム等の情報提供と運用

イ NPO等

(ア) NPO等の役割

- これまでのノウハウやネットワーク、行動力などを活かした環境学習等の推進
- 各主体間の連携・協働の調整（コーディネート）
- 多様な主体との連携・協働による地域づくりの担い手

(イ) NPO等に期待される主な取組

- 強みを活かした環境保全活動や環境学習の実施
- 学校、事業者、行政との連携・協働による環境学習等の実施
- 各主体間の連携・協働のコーディネート

(ウ) NPO等の取組を促進するために各主体に期待される支援

a) 家庭に期待される支援

- 環境保全活動や環境学習講座への参加

b) 学校に期待される支援

- 連携・協働による環境教育の実施
- 家庭や地域での学び合いに発展する環境教育の実施

c) 事業者期待される支援

- 環境保全活動や環境学習講座への参加
- 地域等における環境保全活動の連携・協働による実施や、事業者の持つ資源を活かした環境学習等の支援（場の提供や経済的支援を含む）

d) 地域コミュニティに期待される支援

- 環境保全活動や環境学習講座への参加や、場・情報の提供等の支援

e) 行政に期待される支援

- 主体間をつなぐ仕組みの提供
- 環境、環境学習等に関する情報の収集・提供

(エ) 県の推進する主な施策

- 環境学習等を行うNPO等の支援（情報収集・提供、表彰制度、財政的支援など）
- 主体間をつなぐ仕組みの提供（コーディネートやAELネットなど）

ウ 地域コミュニティ

(ア) 地域コミュニティの役割

- 地域のネットワークを活かした環境学習等の推進
- 地域づくりの担い手として重要な役割を担う

(イ) 地域コミュニティに期待される主な取組

- 地域課題を題材にした環境保全活動や環境学習の実施
- 学校、事業者、NPO等、行政との連携・協働による環境学習等の実施

(ウ) 地域コミュニティの取組を促進するために各主体に期待される支援

a) 家庭に期待される支援

- 環境保全活動や環境学習講座への参加・参画

b) 学校に期待される支援

- 地域との連携・協働による環境教育の実施
- 地域での学び合いに発展する環境教育の実施（地域課題の教材化など）

c) 事業者期待される支援

- 地域における環境保全活動への参加や、事業者の持つ資源を活かした環境学習等の実施・支援（人材・場・情報の提供や経済的支援を含む）

d) NPO等に期待される支援

- NPO等の強みを活かした環境学習等の実施・支援（人材・場・情報の提供等）

e) 行政に期待される支援

- 主体間をつなぐ仕組みの提供
- 環境、環境学習、地域課題等に関する情報の収集・提供

(エ) 県の推進する主な施策

- 環境学習等を行う地域コミュニティ等の支援（情報収集・提供、表彰制度、財政的支援など）
- 主体間をつなぐ仕組みの提供（コーディネートやAELネットなど）

ウ 行政

(ア) 行政の役割

- 多様な主体が、地域の特性を踏まえた環境保全活動や環境学習に取り組むことができる体制の整備
- 地域の多様な主体と連携した、環境学習等の実践

(イ) 市町村に期待されること・取組

- 地域の特性を活かした環境学習等の実施や、地域の実情にあった環境学習推進の体制づくり（環境学習等行動計画の策定・推進等）
- 施策・事業を通じた住民への環境負荷低減に関する普及啓発
- 環境学習等を行う各主体への支援（情報収集・提供、教材の貸与、表彰制度など）
- 地域で活躍する環境学習指導者やコーディネーター等の育成・支援
- 主体間をつなぐ仕組みの提供（講師、教材）

(ウ) 県に期待されること・取組・主な施策

- 県内全域を対象とした計画や制度等の体制づくりとその推進
- 環境学習等を行う各主体への支援（情報収集・提供、教材提供、表彰制度など）
- 施策・事業を通じた環境負荷低減や安全・安心に関する普及啓発
- 主体間をつなぐ仕組みの提供・充実（講師、教材、施設）
- 環境学習等推進のための拠点となる施設の整備・運用
- 県の事務事業への環境マネジメントシステムの充実と職員に対する環境学習の充実

(エ) 行政の取組を促進するために各主体に期待される支援

a) 家庭に期待される支援

- 環境保全活動や環境学習講座への参加・参画
- 日頃の生活の中における、環境配慮行動（省エネ・省資源やグリーン購入など）の実践

b) 学校に期待される支援

- 家庭や地域での学び合いに発展する環境教育の実施（地域課題の教材化など）

c) 事業者期待される支援

- ライフサイクルの視点で環境に配慮した商品・サービスの開発・提供と、それらを通じた気づき・学びの機会の提供
- 地域における環境保全活動や、強みを活かした環境学習等の実施・支援（人材・場・情報の提供や経済的支援を含む）
- 環境マネジメントシステムの導入・実施やSDGsへの取組

d) NPO等に期待される支援

- 地域の環境課題に関連した環境学習等の実施・支援（人材・場・情報の提供等）

e) 地域コミュニティに期待される支援

- 地域の環境課題への取組
- 地域の環境保全活動等に関する情報の提供

3 世代に応じた取組の拡充

全てのライフステージでの学びの機会の充実

ア 意義

- 日常生活のあらゆる場面を環境学習等の機会と捉えていくことによる、日々の生活への気づきと学びの機会の拡充と継続的確保

イ 期待される方向性

- 未就学児、小中学生、高校生、大学生、社会人、中高年・シニアといったあらゆる世代を対象とした環境学習等による人づくり

4 連携・協働の強化

(1) 多様な主体の連携・協働

ア 意義

- 地域を教材とした自然体験、社会体験、生活体験などの実体験をとおして、より実践的に実感を持って、継続的・発展的に学ぶことが重要
- 各主体が相互の自主性・自立性を尊重し合い、対等な立場にあることを認識したうえで、人材、場、プログラム、ノウハウ等を互いに活かす効果的な環境学習等が実現

イ 期待される方向性

- 各主体間の協働取組の促進（環境学習コーディネーターの設置、協働授業づくりハンドブックを活用した研修の実施など）
- 行政間及び県内部の連携強化

(2) 世代間の連携・協働

ア 意義

- 世代間の学び合いを意識した環境学習等の実施により、互いに気づきや発見を得る育ち合いに発展
- 家庭向けの環境学習等においては、世代間の学び合いを促すことにより、日常生活での環境配慮行動の継続的な選択につながることを促進

イ 期待される方向性

- 世代間の学び合いを意識した環境学習等の推進

5 行動につなげるための環境学習等を効果的に実施するための工夫点

学びを行動につなげるためには、行動の必要性や価値、行動による成果を感じられることが重要である。そのためには、以下のような工夫を取り入れることにより、実感を伴った学びや実践的な環境学習を実現させることが効果的である。

- (1) 毎日の生活を生きた学びの場にする
- (2) 地域の課題・資源を活かした学びで気づきや行動を引き出す
- (3) 連携・協働で強みを活かし合い、相乗効果を生み出す
- (4) 楽しく前向きな学びで明るい未来を描く